

漢字・語彙力	論理的言語力	論理的読解力A	論理的読解力B	論理的思考力	論理的表現力
漢字や語彙を使いこなす力。漢字を使って論理的な文章を組み立てる力。	日本語を論理的に扱う力。一文の構造を論理的につかまえる力。「ことばのつながり」、助詞・助動詞などの適切な使い方。	物語文を、主観を入れずに、客観的に読み取る力。あらすじ・情景描写、登場人物などの心情を把握する力。	論理的な文章を正確に理解する力。筆者の主張やその理由などを把握する力。文と文との論理的関係を理解する力。	文章の要点を論理的に整理し、まとめる力。論理的に説明する力。おもに記述力・論述力。	他者に向かって、論理的に話す力。絵を客観的に分析し、一文で表現する力。

測定する能力

《問題Ⅰ》 漢字・語彙力 (60点)

- 答え
第一問 (1) 【言葉】ウ 【意味】カ (2) 【言葉】ア 【意味】コ (3) 【言葉】エ 【意味】ク

- 第二問 (1) 電池 (2) 室内 (3) 多数 (4) 近所 (5) 真心 (6) 身長

- 第三問 (1) 母は三角形のおにぎりを作った。(2) 夏休みの旅行の計画を立てる。(3) たくさんの白鳥がいつせいにとび立った。(4) ぼくは野球のバットとグローブを買った。

■配点
第一問 各6点 (言葉・意味 各3点)
第二問 各3点
第三問 各6点 (ならべかえ・漢字 各3点)

◆解説
第一問 動物の名前を使った慣用句です。よく使われる慣用句なので、意味をおぼえましょう。

第二問 小学二・三年生レベルの漢字です。前後の言葉から意味を考えるようにしましょう。(1) リモコンの何をこうかんするかを考えます。(2) 空気を入れかえるのだから、外ではありません。「屋外」「屋上」は外、「室内」は部屋の中。

(3) 「多数決」は、意見がわかれたときに、より多くの人がさんせいした意見にした

がって決めること。
(4) 「公園」をせつめいする言葉としてふさわしいのは「近所」。

(5) 「こめる」につながるは「真心」。
(6) のびるのは「身長」「十センチ」という言葉からわかります。

第三問 「主語」と「つ語」、「言葉のつながり」を考えます。主語と「つ語」の位置が決まっているので、解答らんに入合うように順番を考えましょう。

(1) 主語は「母は」で、つ語は「作った」。「た」。「母は」↓「作った」、「三角形の」↓「おにぎりを」↓「作った」とつながります。

(2) つ語は「立てる」で、主語は「しゅうりやくされていきます。何を立てるか」というと、「夏休みの」↓「旅行の」↓「計画を」↓「立てる」。

(3) 主語は「白鳥が」で、つ語は「とび立った」。「たくさんの」↓「白鳥が」↓「とび立った」、「いつせいに」↓「とび立った」とつながります。

(4) 主語は「ぼくは」で、つ語は「買った」。「ぼくは」↓「買った」、「野球の」↓「バットと」↓「グローブを」↓「買った」とつながります。

《問題Ⅱ》 論理的言語力 (20点)

●答え
第一問 (1) 主語・妹は

(2) 主語・エベレストは
つ語・山だ

第二問 (1) おべんとうに (2) おもちやを

第三問 (1) と (2) を (3) へ (4) が

■配点
第一問 4点 (主語・つ語 各2点)
第二問 各2点 第三問 各2点

◆解説
第一問 つ語から、主語を考えます。主語とつ語がわかれば、文の大切なところがわかります。

(1) つ語「読んでいる」に対して、「だれが」に当たるのが「妹は」。
(2) つ語「山だ」に対して、「なにが」に当たるのが「エベレスト」。

第二問 言葉のつながりは意味から考えます。(1) 「遠足の」は「おべんとうに」をせつめいた言葉。
(2) 「わたしの」は「おもちやを」をせつめいた言葉。

第三問 助詞の使い方をチェックしましょう。

《問題Ⅲ》 論理的読解力A (40点)

●答え
第一問 (1) ウ (2) イ (3) ア

第二問 ひとりもお客さんが来ない(から)。

第三問 ウ

第四問 タヌキ(は、カニとくらべて) 大きい(上、)体中(が)毛むくじゃら(だから)。
第五問 山(くらい大きな) タヌキのお父さん(の毛をかるには) とても自分ひとり

では、間に合わせぬ(と思つたから。)

第六問 はさみ

■配点

第一問 各2点 第二問 6点

第二問 6点 第四問 8点(各2点)

第五問 6点(各2点) 第六問 8点

◆解説

かならず問題文中に答えがあります。それをさがすようにしましょう。

第一問

- (1) ひるねをしていたタコやタヌキによびかけたのだから、「目をさまして」。
- (2) 直後に「なるほど毛はひとすじもな〜く」とあるので、「毛」。
- (3) 「うでをふるう」とは、自分の力を十分にはつきすること。

第二問 直後に「と申しますのは〜から」と、理由が書いてあります。

第三問 直後に「〜というのは〜」と書いてあります。

第四問 直前に「ですから」とあるので、直前に理由が書いてあることがわかります。

第五問 直前に「そこで」とあるので、直前に理由が書いてあることがわかります。

第六問 とこ屋であるカニの商売道具は「はさみ」です。生まれてくるカニはみんなとこ屋になったので、みんな「はさみ」を持っているのです。

《問題IV》

論理的思考力

(30点)

●答え

第一問 B ↓ D ↓ A ↓ C

第二問

- (1) ① ぼく ② 練習 ③ した
- ④ 運動会 ⑤ 中止だった
- (2) ① 葉っぱ ② 落ちた
- ③ お父さん ④ 庭
- ⑤ はいた

■配点

第一問 10点(完全解答)

第二問 各10点(①〜⑤ 各2点)

◆解説

第一問 A「その雪で」、C「でも」、D「だから」があるので、最初はBだとわかります。B「夜の間ずっと雪がふつて」いたので、D「今朝〜たくさん雪がつもつて」とつながります。次に、A「その雪で〜雪だるまを作り」しましたが、C「夕方にはとけてしまいました」とつながります。

第二問 主語、じゅつ語、目的語がわかれば、文章の大切なところが分かります。

- (1) 前半の文章の主語は「ぼくは」で、じゅつ語は「した」、目的語は「練習を」。「ぼくは練習をした」という文が中心となることがわかります。後半では、主語が「運動会は」、じゅつ語が「中止だった」なので、「運動会は中止だった」という文が中心になることがわかります。「でも」を「が」に置きかえ、前半と後半の文の中心をつなぎます。
- (2) 前半の文章の主語は「葉っぱが」、じゅつ語は「落ちた」なので、文の中心は「葉っぱが落ちた」となります。後半の文章の主語は「お父さんが」、じゅつ語は「はいた」、目的語は「庭を」なので、文の中心は「お父さんが庭をはいた」です。

《問題V》

論理的読解力B

(30点)

●答え

第一問 (1) 空き箱 (2) 前の方 (3) かばん(の中)

第二問

- (1) アブラゼミの一生について
- (2) ① ア ② オ ③ ウ
- (3) 子そんをのこすため。

■配点

第一問 各3点

第二問 (1) 6点 (2) 各3点 (3) 6点

◆解説

第一問 指示語の問題です。指示語は、多くの場合、前に書いたことを指すので、直前にある言葉から考えます。前にはない場合は後ろをさがしましょう。

- (1) 何を使うかというと、直前の「空き箱」。

- (2) どののせきかというのと、「前の方」のせき。
- (3) 弟がさがしている場所だから「かばん(の中)」。

第二問

- (1) この文章の話題を考えます。四行目に「では、アブラゼミは、どのような一生をすこすのでしょうか。」とあり、アブラゼミがたまごから成虫になり、一生を終えるまでの話が書かれています。話題は、アブラゼミの一生です。
- (2) ① 直後にゼミの具体例が書かれているので、「たとえは」。
- ② 直前では、たまごからふ化して地上に出てくるまでの話をして、直後に、地上に出てからの話をつけくわえているので、「そして」。
- ③ 長い年月をかけてようやく成虫になったのに、直前で「一週間から一か月ほどしか生きられません」とひっくり返しているのです、「しかし」。
- (3) 後ろから二行目に「子そんをのこすため」とあります。

《問題VI》

論理的表現力

(20点)

●答え

第一問 (1) ア・イ(順不同) (2) ア

第二問 (1) ふん水 (2) ジャングルジム (3) ベンチ (4) 3 (5) 右 (6) シーソー (7) すべり台

■配点

第一問 (1) 4点 (2) 2点

第二問 各2点

◆解説

絵を見て、ありのままにせつめいする力をためします。

第一問 絵をよく見て答えましょう。

第二問 第一問をもとに答えましょう。

- (1) 中央にあるのは、ふん水。
- (2) (3) 第一問と同じ。順番に注意。
- (4) はとは3羽います。
- (5) 女の人は右のベンチにすわっています。
- (6) (7) ふん水の手前には、左から、シーソー、すべり台があります。